

誤嚥性窒息死のない世の中へ！命の危険が潜む夜間労働者(個人・団体)に愛と光を!!

連載

115 在宅医療奮闘記

平成7年より
在宅を開始した

私の思い出

(医)東西会 千舟町クリニック院長
橋本 満義 (67歳・内科)

今年は、院長秘書会(15名)の新年会を
“あなた”と“わたし”の通称「オカマバー」で開催しました。

「あら先生いらっしやい! 待ってたわ。私って、待つ
身の女かしら? 予約ゼロよ」

あいさつは、いつもこのようなイントロで始まります。
その通称「オカマバー」とは、20数年来のお付き合いに
なります。バブル崩壊後しばらくして、縁遠くなっていた

のですが、3年ほど前から
再びお付き合いさせていた
だくようになりました。

現在、私たちの本業で
ある社会保障領域でのオ
ピニオンリーダーは、医師
以外にも介護士や看護
師、ケアマネジャーなど多
彩です。そして女性が多く
従事しています。そのため、

お酒の席は若い女性のいるクラブではなく、いわゆる
オカマバーが必然的に重宝するといった具合です。
今回も、他事業の女性施設長やヘルパーステーション
の女性スタッフも参加していただいて総勢20名の新
年会となったのです。

お店のショータイムが始まりました。「イヨーッ!
待ってました」のかけ声とともに、ママ(?)の女装姿
が目飛び込んできます。歌いながら踊りながら私た
ちを楽しませてくれます。暗い店内の中、ドレスを身
にまとい、カツラをつけ派手な舞台化粧をしたママの
パフォーマンスは、七色に光るミラーボールの下で怪
しげな魅力をかもし出しています。お色直しをしなが
ら「AKB48／恋するフォーチュンクッキー」「テレサ・
テン／愛人」「美空ひばり／川の流れるように」を歌い
踊ります。そして「和田アキ子／あの鐘をならすのはあ
なた」を歌っているころには、Tバックになったママの
下着ショーとなっていました。それは大胆で、大人の

薫りが満開でした。参加していた女性たちも大いに笑
いながら恥じらったりと、とても楽しそうで満足してい
たようです。

このようなイベントは魂まで響き、お互い他人で価
値観の違う者同士でも、いつしか絆を結び合い、信
頼し合える良い関係を築け、前進できるのだと思って
います。

さて、今まさに「命の時代」ですが、ノーマライゼー
ション(老若男女、障害者や子どもも普通の生活がで
きる地域社会をつくっていこうという考え方)といっ
た概念には、性的マイノリティー(L.G.B.T)も当然含
まれます。そして、真に理解し偏見のない社会生活が
送れるようにしなければなりません。

私たちは、以前から当たり前のように、超高齢者や
障害者(運動系、感覚系)、そして性的マイノリティー
の方たちに対しても、普通に理解し、お付き合いさせ
ていただいていたのです。

多様な性を受け入れてこそ、真のノーマライ
ゼーション構築を深化できうのです。

性的マイノリティー(L.G.B.T)をしっかりと理
解し、支援する『アライ』の存在こそ、誤った認
識を正し、誰もが不当な思いをせずに過ごせる
社会となります。

私たちの医療機関にも『アライ』がいます。彼は
34歳、国立理学部数学科卒で、当院では院長
秘書ですが、医療・看護・介護・ボランティアなど
全般のコーディネートが主な仕事です。彼は、
AKB48やゴールデンボンバーなどの曲を、本物
仕立てに化粧をし扮装してのパフォーマンスを
軽くこなす能力があります。また、いろいろな相談
を受けても、相手の立場になって話すことがで
き、頼りにされているようです。

※『アライ』とは、同盟や支援という意味の英語「Ally」が語源の
L.G.B.Tを含む性的マイノリティーを理解し支援する人を指します。

～安全・安心・健康塾～

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。(5分間ルール)
現場の人達を救命救急士として教育する
「安全・安心・健康塾」出張講義に、期待が集まる。



外来診療(かかりつけ医)

要予約

総合内科・漢方診療科

お医者さんが
来てくれる

24時間・365日体制で対応
(松山市全域)

私たちは、質の高い
在宅医療・看護・介護を
目指しています。



医師数 22名
(常勤8名、非常勤14名)

内科・外科専門医 18名
(国立がんセンター勤務歴有3名)

精神科専門医 2名
(ペインクリニック科)

麻酔科専門医 2名
(ペインクリニック科)

末期がん治療(緩和ケア)
相談室開設!



機能強化型・有床 在宅療養支援診療所

(医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 ☎089-933-3788 <http://www.touzaikai.jp/>